



第6回フードバンク こども応援全国プロジェクト

活動報告書

一般社団法人全国フードバンク推進協議会

2024年2月

第6回フードバンクこども応援 全国プロジェクトを実施しました

一般社団法人全国フードバンク推進協議会は、給食のない夏休み期間中に子どものいる困窮世帯への食料支援を全国に拡大するために、2023年12月～2024年1月にかけて加盟フードバンク39団体と協力して「第6回フードバンクこども応援全国プロジェクト」を実施いたしました。

ご支援ありがとうございました

本プロジェクトを支えてくださった皆様のおかげで、全国で38,317世帯の食の支援を必要とする子育て世帯に食品を届けることができました。ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

「フードバンクこども応援全国プロジェクト」は2021年の夏に初めて実施し、多くの企業・団体・個人の皆様からのご支援により、この度6回目のプロジェクトを実施することができました。

また、本プロジェクトでは、ご賛同いただいた協力企業の皆様からたくさんの食品をご寄贈いただいたことで、38,317世帯の子育て世帯に食品を届けることができました。

本プロジェクトを支えてくださった皆様への感謝をこめて、ご報告させていただきます。

プロジェクト概要

■実施時期：2023年12月1日～2024年1月31日

■支援対象：子どものいる困窮世帯

■参加団体：以下の加盟フードバンク39団体

- ・ NPO法人フードバンクイコロさっぽろ
- ・ NPO法人フードバンク狛江
- ・ NPO法人フードバンク和歌山
- ・ 認定NPO法人フードバンク岩手
- ・ 認定NPO法人フードバンク湘南
- ・ 順正デリシャスフードキッズクラブ
- ・ 一般社団法人フードバンクいしのまき
- ・ NPO法人フードバンクにいがた
- ・ 認定NPO法人ハーモニーネット未来
- ・ NPO法人フードバンク茨城
- ・ 新潟県フードバンク連絡協議会
- ・ NPO法人フードバンク山口
- ・ NPO法人フードバンクあしかが
- ・ 認定NPO法人フードバンク山梨
- ・ 認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
- ・ NPO法人フードバンクネット西埼玉
- ・ NPO法人NPOホットライン信州
- ・ NPO法人フードバンク飯塚
- ・ NPO法人フードバンクいるま
- ・ NPO法人POPOLO
- ・ NPO法人フードバンクさが
- ・ NPO法人フードバンクふなばし
- ・ 特例認定NPO法人フードバンク愛知
- ・ 一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき
- ・ NPO法人フリースタイル市川
- ・ 一般社団法人フードバンクびわ湖
- ・ フードバンクひのくに
- ・ とうかつ草の根フードバンク
- ・ フードバンク滋賀
- ・ NPO法人てしおて
- ・ NPO法人フードバンク調布
- ・ NPO法人神戸子ども食堂ネットワーク
- ・ フードバンクそお
- ・ NPO法人フードバンクTAMA
- ・ 認定NPO法人セカンドハーベスト京都
- ・ フードバンク大隅
- ・ NPO法人フードバンク八王子えがお
- ・ NPO法人フードバンク奈良
- ・ NPO法人フードバンク奄美

■ 支援実績

支援世帯数合計
38,317世帯

直接支援*
28,083世帯

間接支援*
10,234世帯分

*直接支援：子ども食堂等の他団体への提供分を除いた、自団体から支援世帯へのパントリー活動や配送による延べ支援世帯数
(お弁当は除く)

*間接支援：パントリー活動等を行う子ども食堂等、他団体へ提供した食品の重量を世帯数に換算

■ 活動の様子

① 企業様からの食品寄贈

今回のプロジェクトでも、たくさんの食品を寄贈していただきました。
おかげさまで、38,317世帯に食料を提供することができました。



認定NPO法人フードバンク山梨



NPO法人フードバンクふなばし



NPO法人フードバンク八王子えがお



NPO法人フードバンク調布



特定認定NPO法人フードバンク愛知

②提供する食品の箱詰め

プロジェクトに参加する団体のスタッフやボランティアの皆様をはじめ、たくさんの方々にご協力いただきました。



認定NPO法人セカンドハーベスト京都



認定NPO法人フードバンク山梨



順正デリシャスフードキッズクラブ
(学校法人 順正学園)



認定NPO法人フードバンク湘南

③食品のお渡し・発送

箱詰めした食品を子育て世帯へ直接配送する他、各地のフードパントリーや子ども食堂等を通じて、食品支援を実施しました。



NPO法人フードバンク狛江



NPO法人フードバンク茨城



フードバンクひのくに



フードバンクそお
(財部町身体障害者協議会)



NPO法人フードバンク茨城



一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき
(つなぐBANK)

④利用者の方々の声

利用者の方々から感謝のメッセージをいただきました。

支えんいただいた企業様、打橋渡しを
して下さるおにさまに感謝です。
頼れる人もおらず遊びに行き、話すお友
友人もいなく、届いた時には涙が止まりません
でした。とてもありがたく、受け取りました。
久しぶりにお腹いっぱい食べます!!
娘は沢山食べて身大きくなります!

息子がとても待っていました。
それは、お菓子が届くことと...
「おにさま」の音で、「平に〜や」と言っていて喜びを
目から訴えていました。お菓子は、ほとんど買わない
ので、助かります。特に、お米は感謝です。
息子が今、成長期中の為、お米がなくてはい
やめられないので... 本当に有り難いです。
ありがとうございます!!

その他、過去の各団体の活動記録は当会ホームページにも記載しております。ぜひご覧ください。

URL : <https://www.fb-kyougikai.net/kodomoouenproject>

■団体様へのインタビュー

弊会のインターン生からプロジェクトにご参加いただいた団体様に、インタビューをさせていただきました。

本冊子にはインタビューさせていただきました、団体様の記事の内容を一部抜粋して掲載しています。全ての団体様の記事は弊会HPよりご覧いただけます。（URL：<https://www.fb-kyougikai.net/kodomooouenproject-6>）

〈NPO法人フードバンクイコロさっぽろ 理事長 片岡様〉

Q.今回の「フードバンク子ども応援全国プロジェクト」では、どのような活動をされていますか。

フードバンク子ども応援全国プロジェクトの期間中は、12月中に150件、1月は中旬までに150件を目標に小包をお送りしています。

小包の中には、子どもたちが一人でお留守番をしているときにでも食べられるお菓子や、親御さんの調理が簡単なパスタなどを積極的に入れるようにしています。

また、通常の小包とは変えて、クリスマスに使えるスイーツの素やお正月に食べられるお餅など、イベントに合わせた製品をお送りすることで、子どもたちの楽しみが増えるように工夫しています。



インタビュー担当 清原

Q.フードバンク活動を行うにあたっての軸や大切にしていることを教えてください。

フードバンク活動を行うにあたって大切にしていることは、消費活動で余剰となった商品や、生産過程で形状が崩れてしまったものなど、行き場を失ってしまった食べ物に光を当て、食品ロス削減につなげていくことです。

また、「困窮している人って本当にいるのですか」という声をいただくこともありますが、皆さんの周りにも少なからずいらっしゃいます。フードバンクをきっかけとして、そのような方々に思いを馳せるとともに、遠い国のことではないということを社会に広めていきたいと思っています。

Q.フードバンク活動を行うにあたって、片岡さんの夢を教えてください。

私の夢は、今の子どもたちが大人になったころに、余った食品を寄付するのが当然のような世の中になっていることです。

札幌で行われた東京オリンピックのマラソン競技の際に、オーストラリアのマラソンチームから余った食品を寄付していただくことができました。

地元ではない地域でも食品が余ったら現地のフードバンクを調べて寄付する。そのような姿勢から外国では少しでも食べ物が余ったら寄付するのが主流になっていることを知り、日本との意識の違いを改めて感じました。

■団体様へのインタビュー

〈NPO法人POPOLO 事務局長 鈴木様〉

Q.鈴木様が普段活動されている中で感じる、生活困窮者支援におけるフードバンク業界の課題について教えてください。

生活困窮者支援において、多くの支援団体が抱えているのが人手不足の問題です。

多くの支援団体は少人数のスタッフで運営しており、一人でもスタッフが欠けると活動が止まってしまうという団体さんも少なくありません。また多くの団体には福祉の専門家やソーシャルワーカーが配置されておらず、食料支援以外のサポートに繋げにくいという現状もあります。

我々のようなNPO団体は、世間的にボランティアのイメージが強いと思います。

しかしボランティアに頼るだけでは、安定した人材の確保や運営の継続はできません。

NPO団体は、地域の様々な問題を解決する重要な社会資源です。ですのできちんと行政や国と連携して、各NPO団体が安定した運営を継続できるよう、社会基盤を整備していくことが必要不可欠だと思います。



インタビュー担当 川本

Q. POPOLO様は、生活困窮世帯の子どもたちへの支援事業である「子ども未来応援事業」もされていますが、本事業ではこういった活動をされていますか。また今回の冬のプロジェクトの期間中は具体的にどのような活動を予定されていますか。

「子ども未来応援事業」ではまず、通年行っている事業として子育て世帯と定時制高校の生徒を対象とした、食料配布および相談会があります。

これらのイベントでは食料配布だけではなく、同時に相談会も実施することで、利用者の方々が食料支援をきっかけに、生活の困り事などを相談しやすくなる環境が生まれ、隠れた支援のニーズにも手を伸ばすことができます。

またそれ以外にも子どもたちの夏休み期間に、子育て世帯に対して食料配布と生活状況のヒアリングを行う「夏休み子ども食料支援事業」など年間を通して様々な活動を行っています。

今回の冬のプロジェクト期間では、「静岡県子ども応援プロジェクト」の開催を予定しています。プロジェクトの内容としては、地元企業や個人の支援者の皆様から支援金を募り、参加を希望される子育て世帯の皆様へ、支援の必要度に応じて食料と金券の配布を行います。

また、参加者の皆様へ、生活の悩みに関する相談窓口を紹介し、支援の幅を広げています。

■団体様へのインタビュー

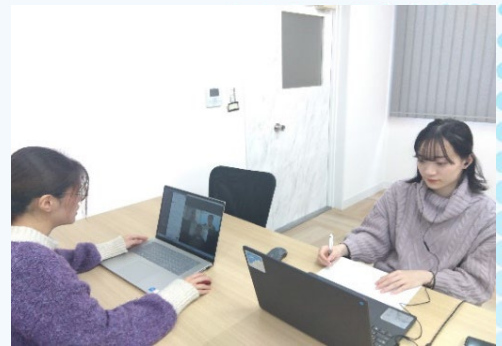
〈一般社団法人フードバンクいしのまき 代表理事 末永様〉

Q.これまでのフードバンクこども応援全国プロジェクトで印象に残った出来事や利用者の方からの声はありますか？

フードバンクいしのまきでは行政や施設、団体を通じた間接支援を中心に行っており、支援を必要とする世帯に対して直接支援を行う機会はほとんどないため、利用者の方から直接お礼をいただくことは少ないです。

ですが、フードバンクこども応援全国プロジェクトでは直接支援を行っているので、利用者の方からお礼の言葉を直接いただける機会がありました。

以前の冬のプロジェクトの時はクリスマスシーズンということもあり、子育て世帯に対してお子様向けのお菓子をたくさんお渡しさせていただきました。その際には利用者の方から、感謝のおはがきをいただいたり、とても助かったという声をいただき、私たちのモチベーションにもつながっています。



インタビュー担当 後藤

Q.フードバンクいしのまき様の個性や、ここはうちが一番だ！というような強みはありますか？

東日本大震災でセカンドハーベストジャパンというフードバンク団体が石巻に復興支援のために拠点を作った際に、現地スタッフとして私を採用していただいたことがきっかけで、フードバンクいしのまきが始まりました。法人としては、全国と比べると新しいフードバンク団体なのですが、フードバンクの知識や実績があり、それが強みだと思います。

これらを生かして、今後は更に地域に根差したフードバンク団体を増やす活動に力を入れて、フードバンクを始めたいという方の支援をしていきたいと思っています。

Q.これからの活動方針を教えてください。

宮城県の北部でも活動を行っているのですが、活動エリアが広域なので一つの法人では車の燃料代などのランニングコストが多くかかってしまいます。そのため各フードバンク団体が、各地域に根差した活動ができるような仕組みを作っていきたいと思っています。

また、フードバンク活動に取り組んでいく中で地域の企業様との連携をとっていくことも大切なので、地域全体を巻き込んで活動ができるようにしていきたいと思っています。

■協賛企業様

※順不同

健康にアイデアを

meiji

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

plaisir

素材、きわだつ。

モランボン

 **mizkan**
やがて、いのちが変わるもの。

meito

全農

 **岐阜アグリフーズ株式会社**

 創業明治37年
塩水港精糖株式会社
ENSUIKO SUGAR REFINING CO., LTD.

 **理研ビタミン株式会社**


STEFANY
GINZA TOKYO

FMG MISSION

つくる人から笑顔に。

 **YOSHIKEI!**

NOMURA


はたけのみかた

Duplex®

企業の皆様からのご支援のおかげで、本プロジェクトにて38,317世帯に食の支援を行うことができました。本事業にご賛同いただき誠にありがとうございました。今後も、「明日の食事に困る人のいない社会をつくる」をビジョンとして活動に取り組んでまいります。フードバンクこども応援全国プロジェクトも、毎年夏と冬の2回の実施を今後も継続し、支援の輪をさらに拡大していきます。

■全国フードバンク推進協議会の活動概要

全国フードバンク推進協議会は、フードバンク活動の推進を通して、食品ロス削減、子供の貧困対策に取り組んでいます。

政策提言・調査研究

海外では活発に行われているフードバンク活動ですが、日本ではまだ歴史が浅く、活動を推進するための法の整備も十分ではありません。そのため全国フードバンク推進協議会では関係省庁への政策提言や調査研究事業を行っています。



フードバンク団体の育成

フードバンク団体の団体数の増加や各団体の基盤強化のために、フードバンク団体への情報提供、コンサルティング、研修会の開催、新設団体の立ち上げ支援を行い、フードバンク団体の活動をサポートしています。



フードバンク活動が
持続的に発展できる
豊かな土壌を
作ります

広報

フードバンク活動の認知度や信頼性を高めるため、フードバンクこども応援全国プロジェクト等を通して普及啓発活動に取り組んでいます。



資源の分配

全国各地のフードバンク団体と企業とのマッチングの窓口となることで、食品や活動資金、知的財産等、フードバンク活動の推進に必要な資源の分配を行っています。



一般社団法人

全国フードバンク推進協議会

www.fb-kyougikai.net/

〒171-0014

東京都豊島区池袋2丁目61-4 エヌアイビル 3F

Tel: [03-6912-9444](tel:03-6912-9444)

Email: info@fb-kyougikai.net

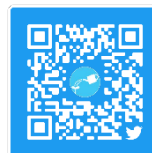
Facebook : <https://www.facebook.com/foodbankalljapan/>

X (旧Twitter) : <https://twitter.com/fbkyougikai11>

弊会HP



X(旧Twitter)



ご寄付について



Facebook

